

# 令和3年三重県議会定例会

## 医療保健子ども福祉病院常任委員会

### 説明資料

#### 【 所管事項説明 】

- |                               | 頁 |
|-------------------------------|---|
| 1 三重県病院事業 中期経営計画 令和2年度の実績について | 1 |
| 2 新型コロナウイルス感染症への対応について        | 6 |

令和3年6月22日

病院事業庁

【所管事項説明】

1 三重県病院事業 中期経営計画 令和2年度の取組成果について  
 ≪ 病院別の取組成果 ≫

こころの医療センター

中期経営計画における令和2年度の目標と実績

目 標 項 目	R1 実績	R2 目標	R2 実績	R3 目標
<b>(1) 精神科救急・急性期医療の提供</b>				
精神科救急患者受入件数	186 件	230 件	154 件	230 件
<b>(2) 専門的医療の提供</b>				
認知症入院患者数	37.1 人/日	40.0 人/日	28.7 人/日	40.0 人/日
アルコール依存症入院患者数	35.1 人/日	30.0 人/日	25.9 人/日	30.0 人/日
精神科早期介入対応件数	160 件	200 件	173 件	200 件
<b>(3) 地域生活を支えるための支援</b>				
デイケア・ショートケア延べ患者数	10,972 人	20,000 人	8,474 人	12,500 人
訪問看護延べ患者数	4,784 人	5,000 人	4,161 人	5,000 人
入院後1年以内の患者退院率	96.1%	95.0%	93.8%	95.0%
障害福祉サービス事業所等との連携取組件数	6 件	8 件	7 件	8 件
こころしっとこセミナー開催件数	48 件	35 件	28 件	35 件
<b>(4) 人材育成の充実</b>				
研修医・看護実習生等受入延べ人数	2,292 人	2,200 人	1,904 人	2,200 人
人材育成研修回数	5 回	5 回	5 回	5 回
<b>(5) 業務改善の推進</b>				
危機管理研修等参加率	94.7%	93.0%	99.6%	93.0%
患者満足度	83.0%	94.3%	86.2%	94.3%
<b>(6) 経常収支比率・医業収支比率の向上</b>				
経常収支比率	97.7%	101.1%	110.6%	102.6%
医業収支比率	67.8%	73.8%	58.8%	63.4%
<b>(7) 患者数の確保に向けた取組</b>				
1日平均入院患者数	264.3 人/日	297.0 人/日	222.8 人/日	250.0 人/日
1日平均外来患者数	215.8 人/日	280.0 人/日	178.5 人/日	200.0 人/日
<b>(8) 医師・看護師の確保</b>				
医師充足率	94.9%	100.0%	84.2%	100.0%
看護師充足率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

令和2年度の取組成果

- 精神科医療の中核病院として、休日・時間外などの救急患者の受入れ(154件)や措置鑑定診療の要請(80件)に対応し、精神科救急・急性期医療を提供しました。
- 認知症治療においては、専門外来であるもの忘れ外来(延べ1,050人)や専門病棟(入院28.7人/日)による切れ目のない効果的な治療を提供するとともに、認知症治療の充実を図るため、令和3年1月に脳神経内科専門医を配置しました。

## 【所管事項説明】

- アルコール依存症治療においては、専門病棟を有する県内唯一の医療機関として、専門性の高いプログラムを用いた入院治療等(入院 25.9 人/日、外来延べ 3,848 人)を提供しました。
- ギャンブル依存症治療においては、先進的な病院の取組を参考に専門の治療プログラムを策定し、令和3年1月にギャンブル依存症治療拠点機関に選定されました。
- 院内に設置している、ユース・メンタルサポートセンター(YMSC)MIEにおいて、若年層やその家族等からの相談(173件)に対応するとともに、学生、教員、保護者や関係機関を対象に研修会(13回)を実施しました。
- 患者の地域生活を支援するため、外来患者に多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービス(延べ8,474人)や、訪問看護サービス(延べ4,161人)を提供するとともに、入院患者には、具体的な作業活動を通じて精神機能の改善を図るリハビリテーション(作業療法。延べ20,164人)を提供しました。
- 精神科専門医の取得を希望する専攻医を受け入れるため、「三重県立こころの医療センター精神科専門医研修プログラム」を策定しました。
- 決算においては、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が減少し、医業収益が減少しましたが、同感染症に係る国からの交付金を受けたことなどにより、医業外収益が増加したことから、経常損益は黒字となりました。  
(経常損益：R1 △74 百万円→R2 +336 百万円 (+409 百万円))

### 残された課題、今後の取組方向

- 精神科救急・急性期医療では、救急患者の受入れに的確に対応するとともに、個室が必要な患者の増加に対応するため、引き続き救急・急性期病棟を中心に個室の拡充を進め、受入体制を充実します。(R3：81室→91室 (+10室))
- 認知症治療については、令和2年度に新たに配置した脳神経内科の専門医により、一層の治療の充実を図ります。
- アルコール及びギャンブルに係る依存症治療については、治療拠点機関として、専門プログラムに基づいた治療を提供するとともに、医療機関等を対象とした研修会の開催や普及啓発にも取り組みます。
- デイケアサービスについては、プログラム中の3密の防止等、感染防止対策を徹底しながら、訓練時間の短いショートケアサービスを中心に、引き続き利用者の日常生活や就労面の支援を行います。
- 専門医研修プログラムにより精神科専門医の取得を希望する専攻医を積極的に受け入れて人材育成に取り組むとともに、将来的な医師の確保につなげます。
- 新型コロナウイルス感染症の影響などにより患者数が減少し、入院・外来収益が減少していることから、引き続き、病床管理の徹底や医療・福祉関係機関との連携の強化、デイケアプログラムの見直しなどにより患者数の確保を図り、経営改善に取り組みます。

【所管事項説明】

一 志 病 院

中期経営計画における令和2年度の目標と実績

目 標 項 目	R1 実績	R2 目標	R2 実績	R3 目標
<b>(1) 地域医療の推進</b>				
訪問診療、訪問看護等延べ患者数	4,571 人	4,000 人	4,938 人	4,700 人
住民健診、人間ドック、がん検診受検者数	1,470 人	1,400 人	1,361 人	1,400 人
救急患者受入件数	1,271 件	1,000 件	877 件	1,000 件
医療過疎地域等への支援件数	9 件	7 件	4 件	7 件
多職種連携による取組件数	30 件	30 件	13 件	20 件
<b>(2) 人材育成の充実</b>				
初期研修医・医学生受入延べ人数	460 人	600 人	318 人	500 人
看護実習生等受入延べ人数	341 人	330 人	48 人	330 人
学会、研修、カンファレンス等参加率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
<b>(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進</b>				
学会、論文等発表件数	43 件	30 件	10 件	30 件
<b>(4) プライマリ・ケアセンターへの支援</b>				
プライマリ・ケア研修会開催件数	2 件	3 件	3 件	3 件
<b>(5) 業務改善の推進</b>				
夢プロジェクト開催回数	12 回	12 回	12 回	12 回
危機管理研修等参加率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
患者満足度	98.0%	96.6%	99.0%	96.6%
<b>(6) 経常収支比率・医業収支比率の向上</b>				
経常収支比率	117.6%	103.1%	120.0%	109.6%
医業収支比率	78.9%	67.9%	76.6%	73.3%
診療報酬検討会開催回数	12 回	12 回	12 回	12 回
<b>(7) 患者数の確保に向けた取組</b>				
1日平均入院患者数	37.1 人/日	38.0 人/日	36.3 人/日	38.0 人/日
1日平均外来患者数	79.0 人/日	79.0 人/日	74.5 人/日	76.0 人/日
<b>(8) 医師・看護師の確保</b>				
医師充足率	76.8%	100.0%	80.1%	100.0%
看護師充足率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## 【所管事項説明】

### 令和2年度の実績

- 地域のあらゆる医療ニーズに対応できるプライマリ・ケアを実践するとともに、通院が困難な患者に対する訪問診療(延べ1,099人)や訪問看護(延べ3,339人)、訪問リハビリテーション(延べ436人)等の在宅療養支援、住民健診(635人)や人間ドック(103人)、がん検診(623人)等の予防医療に取り組みました。
- 初期救急医療を担う医療機関として24時間365日の救急受入体制を維持し、救急ホットライン(消防から医師への直通電話)や外来ホットライン(診療所等から日当直看護師への直通電話)を活用しながら、迅速に救急患者(877件)を受け入れました。
- 地域包括ケアシステムの構築に向け、医療・介護・予防等の多職種による課題検討会「美杉・白山・一志 顔の見える会」の取組への支援を通じて、地域の多職種連携に向けたネットワーク構築に取り組みました。
- 総合診療医の育成拠点として、初期研修医(延べ20人)、医学生(延べ298人)等を受け入れ、一志病院の診療圏をフィールドにした実践的な研修を提供しました。
- 三重県プライマリ・ケアセンターと連携し、プライマリ・ケアエキスパートナースにかかる研修会の開催等を支援し、新たに5名(県内4医療機関。うち一志病院1名)を認証しました。
- 決算においては、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来の患者数が減少したものの、訪問診療や訪問看護等の在宅療養支援の増により、医業収支比率は目標を達成し、経常損益は8年連続の黒字となりました。  
(経常損益: R1 +151百万円→R2 +178百万円(+27百万円))
- 白山・美杉地域における地域包括ケアシステムの構築および地域医療の充実に向け、津市から積極的な関与を進めるために提案された取組について協議を継続し、一部の事業について津市の負担により実施することで合意しました。

### 残された課題、今後の取組方向

- 引き続きプライマリ・ケアを実践するとともに、訪問診療等の在宅療養支援や住民健診等の予防医療に取り組み、きめ細かな医療サービスを提供します。
- 消防機関や診療所等と密接に連携しながら、総合診療医を中心とした24時間365日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献します。
- 県内における総合診療医育成の中心的な役割を担うとともに、多職種連携の要となるプライマリ・ケア人材の育成に取り組みます。
- 引き続き地域の医療ニーズに沿った医療を提供しながら、健全な経営を続けます。
- 白山・美杉地域における地域包括ケアシステムの構築に向けて津市との協議を継続するとともに、病児・病後児保育については、一志病院において、津市から委託を受けて実施することで合意したことから、早期の実施に向けて院内への保育室、静養室の整備や専門研修への職員派遣などの準備を進めます。

【所管事項説明】

志摩病院

中期経営計画における令和2年度の目標と実績

目標項目	R1実績	R2目標	R2実績	R3目標
<b>(1) 診療機能の回復・充実</b>				
1日平均入院患者数	194.2人/日	251.0人/日	172.7人/日	201.0人/日
1日平均外来患者数	296.4人/日	350.0人/日	254.4人/日	301.0人/日
1か月平均救急患者数	386.1人/月	615.0人/月	249.5人/月	529.0人/月
利用者満足度	75.2%	85.0%	71.0%	85.0%

令和2年度の取組成果

- 入院診療については、一般病棟・精神科病棟のほか回復期機能を担う地域包括ケア病棟の運用を継続するなど、地域の多様な医療ニーズに対応しました。
- 救急医療については、内科系救急患者の24時間365日の受入れを継続するとともに、小児救急について、令和2年12月から平日日勤帯（木曜日を除く。）に一部の症例や年齢に限定して受入れを始めました。
- 令和4年度からの次期指定管理者に、現行の指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会を指定し、基本協定を締結しました。

残された課題、今後の取組方向

- 引き続き志摩地域の中核病院としての役割・機能を担っていきけるよう、指定管理者と密接に連携し、地域の医療ニーズをふまえながら診療機能の充実に取り組みます。
- 次期指定期間（令和4年度～令和13年度）に向けて、指定管理者と協議・調整しながら準備を進めます。

県立病院課

中期経営計画における令和2年度の目標と実績

目標項目	R1実績	R2目標	R2実績	R3目標
<b>(1) 経常収支等の向上に向けた支援</b>				
経常収支比率	101.9%	101.5%	112.3%	104.0%
医業収支比率	68.4%	70.8%	61.2%	65.6%
<b>(2) 医師・看護師の確保</b>				
医師充足率	89.3%	100.0%	82.9%	100.0%
看護師充足率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
<b>(3) 患者満足度の向上</b>				
患者満足度	90.8%	95.0%	92.4%	95.0%

※こころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値

【所管事項説明】

## 2 新型コロナウイルス感染症への対応について

### (1) 院内感染対策

#### ①院内感染対策と人材育成

県立病院では、院内感染を防止し病院機能を維持していくため、院内に新型コロナウイルス感染症対策会議等を設置し、院内感染対策を進めています。

また、院内感染対策に係る研修会を実施(各病院 2 回(全職員)/年)し、感染防止に従事する職員の育成や資質向上に取り組んでいます。

#### ②病院施設の整備・改修

病院名	年度	主な病院施設の整備・改修
こころの医療センター	令和2年度実績	サーマルカメラの設置、自動精算機の導入
一志病院	令和2年度実績	サーマルカメラの設置、発熱外来診察室の設置(診察室の改修)
	令和3年度予定	衛生設備(水栓自動化)等改修
志摩病院	令和2年度実績	サーマルカメラの設置、自動精算機の導入、発熱外来用個室の設置(個室カプセル)
	令和3年度予定	水栓自動化改修

### (2) 県の新型コロナウイルス感染症対策に係る取組

#### ①医療提供体制の確保に係る対応等

県内における感染患者の増加に対応するため、県立病院においても県対策本部と連携しながら、感染患者受入れのための専用病床の確保や、宿泊療養施設への医療人材の派遣、感染に係る検査等を行っています。

#### ②ワクチン接種に係る対応

県対策本部や自治体からの要請に基づき、県立病院においても医療従事者や高齢者へのワクチン接種を実施しています。

#### (高齢者へのワクチン接種の状況(今後の予定))

医療機関名	接種予定人数	備考
一志病院	648人	津市からの要請に基づき津市内の接種協力医療機関(125カ所)の一つとして対応
	180人	津市からの要請に基づき津市内の集団接種会場(4カ所)の一つとして対応 60人×3日で実施する予定 1回目の接種は、6/25,7/2,7/9 2回目の接種は、7/16,7/23,7/30
志摩病院	296人	志摩市からの要請に基づき、集団接種への参加が困難な方に接種

- ・当初予定されていた県立病院職員(医療従事者、事務職員、委託先職員等)への接種は完了しています。
- ・地域の医療機関に勤務する医療従事者や消防職員等への接種にも適時対応しています。